

ひらくびづかん

HIRATSUKA CITY MUSEUM VOL 5 NO 4 1980. 7. 1
平塚市博物館 TN051



7月の花

コヒルガオ

一見同じように見えて、実はちがつた種類という植物は多いものです。ヒルガオとコヒルガオもその一つで、どちらも空地や道ばたで元気よくピンクの花を咲かせています。細かく見ると、コヒルガオの方が花が小さいこと。葉の切れ込みが多いこと、花の茎の上の方にちぢれたひらひらがついていることなどで区別できます。こんな特徴にも目が行き届くようになると、植物観察の楽しみもまたふえできます。

特別展「街の生きものたち」

7月22日(火)~8月30日(土)

特別展示室 入場無料

タンポポ・ツバメ・アシナガバチなど身近な街の生きものたちにスポットをあて、都市化が進ん

だ平塚で、彼らがどんな暮らしをしているか紹介します。

☆記念講演会

8月5日火午後2時~

講堂

「街の自然と私たち」

柴田敏隆氏(山階鳥類研究所資料室)

参加自由

☆セミのぬけがらを届けてください

特別展の会場に大きな地図を展示します。この地図に平塚のセミのぬけがらをはりつけ、どの地区にどんな種類が多いか調べていきたいと思います。ぬけがらを見つけた人は、見つけた場所と名前を書いたメモと一緒にポリ袋に入れ、博物館の受付に届けてください。あなたの名前と一緒に地図に展示します。



7月の行事

○水彩教室

水彩絵具を用いてデッサンを行います。

参加希望者は、往復ハガキに住所・氏名・年令・電話番号を明記すること。全期日出席できる人に限ります。

期間：7月22・23・24・25・26・27

29・30日（8日間）

申し込み：7月5日まで

定員：30名

○体験学習シリーズNo.44「星座早見を作ろう」

星座をみつける時に便利な星座早見盤を作り、晴れいたら実際の空で使い方を練習します。

日時：7月29日（火）午後1時～3時（製作）
30日（水）午後7時～8時（練習）

申し込み：7月15日までに往復ハガキで。なお練習のとき、小学生は父兄同伴で。

材料費：100円、29日に集めます。

定員：40名、応募多数のときは抽選。

8月の行事

●みんなで調べよう「平塚のセミ」

ぬけがらを集めて、平塚の都市化がセミにどんな影響を与えていているか調べます。調査協力希望者は、下記のように申し込んでください。

日：8月2日（土）10時～打ち合せ

8月3日～22日 各自2日間調査

8月23日（土）10時～まとめ

申しこみ：7月25日までに往復ハガキで。小学校4年生以下は父兄が手伝ってください。

●みんなで調べよう 石仏を調べよう

市内には多くの石仏があるが、昨年にひきつづいて道祖神と庚申塔について、所在地・年代・大きさなどを調べる。

8月2日（土）午後1時30分から打ち合せ

8月3日～8日 調査（つごうのよい日1日）

8月9日（土）午前10時～午後4時 まとめ

定員20名（小学校5年生以上）

申し込み〆切 7月24日 往復ハガキで

●博物館「サマーセミナー」募集のお知らせ

博物館では夏休みに小中学生を対象に2泊3日の自然観察と団体生活を体験する会を開催します。

日程：8月12日（火）～8月14日（木）

開催地：南足柄市猿山、県立足柄青年の家

募集対象：小学5年～中学3年までの男女

定員：40名

応募方法：参加希望の方は、くわしい案内書を博

○星を見る会 「月を見よう」

月令5、2の月を観察します。

日時：7月17日（木）午後6時～8時

申し込み：7月7日までに往復ハガキで。

定員：30名、応募多数のときは抽選。

○土曜観察会

参加希望者には、参加のしおりをさしあげますので、ハガキで申し込むか、博物館受付に申し出てください。

7月12日「アオバトと渡りの動物」

7月26日「つる植物のしきけ」

○自然観察入門講座 「川原の石を調べよう」

相模川の川原石の種類とその由来を調べてみます。

日程：7月24日（木）市内神川橋川原

26日（土）中津渓谷

30日（水）博物館にてまとめ

対象：小学校4年生以上

申し込み：7月10日までに往復ハガキで。

定員：20名、応募多数のときは抽選。

●自然観察入門講座 「干潟の生物」

日：8月27～29日（3日間）

場所：27～28日 相模川河口の干潟

29日 博物館（まとめ）

干潟の泥の中にすむカニやゴカイ、それを餌にするチドリ・シギ・サギなどの水鳥について調べます。

申しこみ：8月15日までに往復ハガキで。小学校5年生以上 定員20名。

●夏休み自由研究相談会

理科・社会の自由研究について、進め方、まとめ方、標本の同定などの相談をお受けします。

日程：7月25日（金）10:00～16:00

8月21日（木）10:00～16:00

●星を見る会

夏休み期間中、毎週土曜日に開催します。参加は自由ですので、都合の良い日にご参加ください。

時間 午後7時～8時

物館受付できしあげます。また、50円切手同封で「サマーセミナー案内書希望」と書いて送ってください。郵送いたします。案内書を読まれた上で、応募用紙に書き込み応募してください。

〆切：7月8日、応募多数のときは抽選。

参加費：4,000円（交通費除）

夏休み期間中の行事日程表

7/22				
23	プラネタリウム			
24	プラネタリウム			
25		自由研究相談会		
26	プラネタリウム	自然観察入門講座	星を見る会	土曜観察会
27	プラネタリウム	「川原の石を調べよう」		水彩教室
28				
29		体験学習		
30	プラネタリウム	「星座早見を作ろう」		
31				
8/1			★	
2	プラネタリウム	みんなで調べよう	星を見る会	
3	プラネタリウム	「平塚のセミ」		
4		「石仏を調べよう」		
5				特別展記念講演会
6	プラネタリウム			
7	プラネタリウム			
8		みんなで調べよう	★	
9	プラネタリウム	「石仏を調べよう」	星を見る会	夏期特別展
10	プラネタリウム			「街の生きものたち」
11				
12				
13	プラネタリウム	「サマーセミナー」		
14	プラネタリウム			
15			★	
16	プラネタリウム			星を見る会
17	プラネタリウム			
18				
19				
20	プラネタリウム			
21	プラネタリウム	自由研究相談会		
22		みんなで調べよう	★	
23	プラネタリウム	「平塚のセミ」	星を見る会	土曜観察会
24	プラネタリウム			
25				
26				
27	プラネタリウム	自然観察入門講座		
28	プラネタリウム	「干潟の生物」		
29			★	
30	プラネタリウム			星を見る会
31				

まほろしのメダカ?

—特別展「街の生きものたち」より

●メダカはいなくなった

今年の特別展では、身近な街の生きものであるタンボボ、カラス、アシナガバチなどについて紹介します。水の生物で、だれにでもおなじみと言えば、まずメダカ、そこで平塚周辺でメダカがどんな所にいるか調べてみよう、出かけてみました。

ところが、どこを探してもメダカのメの字も見あたらないのです。水のきれいな方へと、中井町の中村川に沿って歩いてみましたが、収穫はありません。淀みに群れて泳いでいる小さな魚に、「あつ、いた」とすぐってみると、それはウグイのことでした。また、川をあちこちのぞいてみると、川の汚れが予想以上に進んでいるのにびっくりしました。細い小川でも、中を歩くのがためらわれるほど、きたない所が少なくないのです。

さて、そんなわけで、平塚付近にメダカがいるのかいないのか、博物館ではとうとうつかむことができませんでした。皆さん、なんとかメダカを探していただけませんでしょうか。

●カダヤシの進出

メダカがいなくなっているということは、実は平塚だけのできごとではありません。かわって登場しているのが、北アメリカ原産のカダヤシ(タップミノー)という魚です。こちらは、卵胎生(卵が親の体の中で育ってからでてくる)で繁殖力が強いこと、汚れた水にも強いことなどから、生活排水や農薬で川が汚れてメダカがいなくなつた後へ、ふえてきたと考えられています。数年来、隈田川へ魚がもどってきたと紹介されたのも、このカダヤシでした。特別展の展示では、メダカとカダヤシを水槽で展示する予定です。よく観察してみてください。

●交代する種類

メダカとカダヤシのように、都市化が進むと、一見同じように見える別の種類に交代してしまう生物は少なくありません。以前この「はくぶつかん

メダカ



メス

オス

カタヤシ

メス

オス

ウグイ



ん」で紹介したことのあるタンボボもその一つです。平塚では53、54年度の春、60名以上の参加者で分布を調べましたが、その結果、市街地には外国から入ってきて日本に帰化した外来種、西部丘陵地の畠の周辺などには日本古来の在来種が生えていることがわかりました。また外来種の中でも駅周辺にはアカミタンボボ、周辺部にはセイヨウタンボボが多く、都市化の進行につれて、カントウタンボボ→セイヨウタンボボ→アカミタンボボという移り変わりが見られました。逆に言うと、タンボボを調べることで、その土地が、人間によって、どのくらい開発してきたかを知ることもできるのです。

また、カラスにはハシブトカラス、ハシボソカラスの2種類があり、ちょっと不思議なことに、森林と市街地にはハシブト、農耕地周辺の開けた周辺にはハシボソが多いのです。例えば東京23区内では、ほとんどハシブトしか見られません、さて、平塚のカラスはどうであったか、それは展示を見てください。

メダカ・タンボボ・カラス、これらは誰でも知っている生物ですが、その世界にも、いろいろな変化が起こっています。街の生きものたちの姿に注目しましょう。